

長野県生コンクリート工業組合との懇談会を開催しました



令和6年11月19日

砂利・砂等の主要な需要先である生コンクリート製造業者の県的な団体、長野県生コンクリート工業組合と懇談会を開催しました。

懇談会は、例年開催しているもので、本会からは松田文治会長、片井周一、藤澤幸治、小橋浩樹 各副会長が出席し、また県生コン組合からは 山浦友二理事長、米山多朗、傳刀俊介 各副理事長の出席をいただきました。

協会からは、懸案事項である、「地産地消のさらなる推進」と「コストアップを反映した骨材購入価格の設定」を要望しました。

生コン組合からは、県内の生コン需要の見込みと県内産使用の現況を説明いただき、また、購入価格設定については、各地域ごと協議を進めているとの説明がありました。また、大北地区の骨材の原石確保対策として、現在認められていない一級河川高瀬川からの砂利採取について、県の河川課長へ要望していくことなどが提案されました。

県内の公共インフラ事業への生コン供給は、生コン事業者、砂利事業者ともに重要な使命であり、今後とも連携して情報共有を図ることなど